

各位

2025年7月吉日

平素は格別のご高配を賜りありがとうございます。

この度古川美術館では下記の展覧会を開催いたします。何卒ご取材いただきたく、
よろしくお願い申し上げます。

新風景の会
公益財団法人 古川知足会



会派を超えて活動し、自由と相互の芸術を尊重し、中部画壇に一大旋風を巻き起こした「風景の会」(活動期間1986～2020)。その精神を次世代につなぐべく、「新風景の会」の第2回展です。
テーマは「名古屋の風景」。画家の眼が捉える「名古屋」の新しい魅力が満載です。

展覧会概要 展覧会名 第2回新風景の会絵画展 名古屋の風景

会 期	2025年8月23日(土)～9月21日(日) 26日間
休館日	毎週月曜日 ※但し9月15日(月祝)は開館し翌16日(火)は休館
会 場	古川美術館 〒464-0066 名古屋市千種区池下町2-50
主 催	新風景の会
協 力	古川美術館
後 援	中日新聞社、CBCテレビ
入館料	大人1200円、高大生500円、小中生は無料

見どころ

様々な表現・芸術が混とんと渦巻き、「これが芸術なの？」と目を驚かせる作品も多々見られる現代。

しかし〈新風景の会〉は「描く」という原点を大切に、「風景」に真正面から取り組みます。

風景にこだわり、風景を描き続ける芸術家集団です。

この地方の画壇を牽引してきた画家の作品が、名古屋を描き出します。見慣れた風景、なじみの風景を見つけてください。

また本来別々の会派で活躍している画家が一堂に集まっているので、いろんな会派の画家の作品を一度に楽しめるのも、この会の魅力です。

同人作家 25名 本展招待作家 6名 の 総勢32名の作家が出品しています。

いずれも中部画壇を代表する作家たちです。

広報用画像



平井誠一「うつり」(名古屋城)



木村光宏「うららか」(守山区翠松園)



加藤外茂次「埠頭をわたる風」
(金城埠頭)



田内公望
「名古屋市農業センター
delaふぁーむ」

連絡先

古川美術館 学芸課 早川祥子

名古屋市千種区池下町2-50

TEL 052-763-1991

s_asano@furukawa-museum.or.jp